

2027年度

# 広島経済大学大学院 学生募集要項

(一般選抜、社会人特別選抜)

経済学研究科経済学専攻

博士課程前期課程

博士課程後期課程

広島経済大学  
Hiroshima University of Economics

# 目 次

●研究科長のメッセージ	1
●大学院3つのポリシー	1
●経済学研究科の概要	2
●大学院修了要件及び学位	2
●大学院研究生制度	3
●教育職員免許状取得プログラム	3
●長期履修学生制度	3
●税理士試験「税法」に属する科目の免除申請が可能	4
●経済学研究科経済学専攻博士課程〔前期課程〕授業科目	5
●経済学研究科経済学専攻博士課程〔後期課程〕授業科目	7
●授業科目の概要及び担当教員	8
●一般選抜（前期課程・後期課程）入学試験要項	
1 募集人員	16
2 入学試験日程	16
3 入学試験科目	16
4 入学試験時間割	17
5 入学試験会場	18
6 出願資格	18
7 出願手続	19
8 提出書類	20
●社会人特別選抜（前期課程）入学試験要項	
1 募集人員	22
2 入学試験日程	22
3 入学試験科目	22
4 入学試験時間割	22
5 入学試験会場	23
6 出願資格	23
7 選考方法	24
8 出願手続	24
9 提出書類	24
●共通項目	
1. 入学検定料	25
2. 合格発表	25
3. 入学手続	25
4. 学費・諸納付金	25
5. 奨学金制度	27
6. 長期履修学生制度	27
7. 病気・負傷や障がい等のある受験生等への受験上の配慮及び学修上の配慮について	27
8. 通学について	27
●個人情報取扱いについて	28
●広島経済大学（試験場）案内図	29
●キャンパスマップ	30

## 大学院入学試験出願書類等

・ ㊤整理票、㊦受験票、㊧入学検定料領収書、㊨振込依頼票【一般選抜・社会人特別選抜共通】	32
・ 入学願書【一般選抜（前期課程）・社会人特別選抜（前期課程）出願用】	34
・ 入学願書【一般選抜（後期課程）出願用】	36
・ 入学願書記入例【一般選抜（前期課程）・社会人特別選抜（前期課程）出願用】	38
・ 入学願書記入例【一般選抜（後期課程）出願用】	39
・ 調査書【一般選抜（前期課程）出願用】	40
・ 調査書【一般選抜（後期課程）出願用】	42
・ 研究計画書【一般選抜・社会人特別選抜共通】	44
・ 長期履修学生申請書【一般選抜・社会人特別選抜共通】	46

## 別添書類 返信用封筒【一般選抜・社会人特別選抜共通】

広島経済大学大学院経済学研究科は、本学の建学の精神である「和を以て貴しと為す」と、立学の方針「大学の道は明德を明らかにするにあり」のもと、「経済学の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めてもって文化の進展に寄与すること」を目的としています。

## 研究科長のメッセージ

広島経済大学大学院は、博士課程をもつ経済学専攻の大学院として、経済学の高度な研究を実施するとともに、研究者養成につとめてきました。しかし、近年、高学歴社会の到来とともに、大学院により広い役割を期待する声がかかれるようになりました。これに応え、本大学院では、コース制を採用しています。

高度な研究・研究者養成のための「研究者養成コース」、経済学の知識を深めて専門的な職種を目指す人のための「経済学専修コース」の2つのコースを設けています。

多様な目的をもつ学生の入学を期待しています。

大学院経済学研究科科長 一橋 信之

## 大学院 3つのポリシー

### ① ディプロマポリシー（修了認定、学位授与に関する方針）

大学院経済学研究科博士課程前期課程を修了するためには、所定の年限内に30単位以上の科目を履修・単位修得し、かつ修士論文審査に合格しなければなりません。大学院の教育目的に沿って編成された課程で学修して十分な基礎学力を養い、研究科が行う修士論文審査に合格しうる論文の作成を通じて、幅広く深い知識と分析能力を身につけることが求められます。

博士課程後期課程については、所定の年限内に、大学院の教育目的に沿って、研究指導（24単位）のほか12単位以上の科目を履修・単位修得することによって、豊かな学識を身につけ、かつ研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格して課程を修了することが、博士（経済学）の学位授与の要件です。

### ② カリキュラムポリシー（教育課程の編成の方針）

大学院経済学研究科の教育課程の編成は、博士課程前期課程、博士課程後期課程の各々につき、次のように設定されています。

博士課程前期課程は、「研究者養成コース」及び「経済学専修コース」の2つのコースからなります。「研究者養成コース」の教育課程は、研究指導を重視し、将来研究者として活躍しうる人材の育成に向けた編成になっています。このコースでは、前・後期課程一貫制をとっています。他方、「経済学専修コース」の教育課程は、高度な専門職業人あるいは高度な専門的知識・能力を備えた実務担当者として活躍しうる人材の育成に向けた編成になっています。基礎的科目・実践的科目に重点を置く学部での学習に加えて、より高度で専門的な経済学的知識及び分析能力を体系的に修得できる科目配置になっています。

博士課程後期課程は、「研究者養成コース」のみからなり、その教育課程は、研究指導を重視し、博士（経済学）の学位取得を経て、将来研究者として活躍しうる人材の育成に向けた編成になっています。

### ③ アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

博士課程前期課程では、将来研究者として活躍するための潜在能力を具える学生、あるいは、「学部との5年プログラム」学生\*を含め、将来高度な専門職業人・実務担当者として活躍するための潜在能力を具える学生の受け入れを目指しています。

博士課程後期課程では、将来研究者として活躍するための潜在能力を具える学生の受け入れを目指しています。

\*学部3年次末に研究科が行う「学部との5年プログラム」選考試験に合格した学生は、学部4年次に大学院の科目等履修生として、博士課程前期課程経済学専修コースの授業科目を履修できます。学部4年次末に研究科が行う選考試験の合格及び学部卒業を経て、大学院博士課程前期課程経済学専修コースに入学後、上記履修による既修得単位は、博士課程前期課程修了に必要な修得単位数に充当することができます。学部入学から最短5年で、学士と修士の学位取得が可能となります。

## 経済学研究科の概要

広島経済大学大学院は、1979（昭和 54）年 4 月に経済に関する一層高度な学理とその応用のための専門の学問研究を志す人のために修士課程を設置しました。その後、1990（平成 2）年 3 月の博士課程認可によって、経済学研究科に博士課程を置く研究機関となりました。

博士課程は前期課程 2 年、後期課程 3 年からなり、学内はもとより、全国から経済学修士・博士を志す学生・研究者が集まっています。最近では、国際化に伴い海外からの留学生の受け入れも活発です。

また、経済学の分野における学際的研究の必要性が高まる中、ネットワーク校であるインドネシア国立ガジャマダ大学、シンガポール経営大学、ポーランドのクラクフ経済大学、ポルトガルの ISCTE などをはじめとする大学との教授陣・大学院生の人的交流や学術交流をはじめ、海外の研究機関との交流も盛んです。本大学院において東南アジア研究分野の業績を有する研究者を多数輩出しているのもこうした国際交流の成果です。

このように恵まれた教育研究体制のもと、博士課程前期課程では、経済学・経営学の基礎的な研究能力と、高度な専門性を必要とする諸職業に必要な実務能力の養成も目的のひとつとしています。また、博士課程後期課程では、研究者として自立した研究活動を行うための高度な研究能力と学識を養うことを目的としています。

両課程ともに、経済学の研究者を養成することを目的に高度な専門教育を展開してきましたが、近年では社会のニーズの多様化により、院生の中には研究者以外の道を選ぶ者も増えてきました。また高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民）等の資格取得を主な目的とする院生も少なくありません。こういった状況と、さらには大学院における高度な社会人教育へのニーズの高まりなども考慮し、より広範囲な人々に大学院の門戸を開放することになりました。

すなわち、従来からの目的である研究者の養成は、「研究者養成コース」で引き続き行います。このコースでは、5 年一貫制をとり、研究指導に重点をおいて経済学修士および経済学博士の学位取得を目指します。

一方、経済学（経営学を含む）を学部で勉強したことを踏まえ、より高度な、経済学的な知識と分析能力を備えようとする人のために「経済学専修コース」を開設しています。このコースでは、専門的な授業を選択することによって、幅広い経済学的な素養を身につけるとともに、研究指導によって修士論文を作成して経済学修士の学位を得ることができます。また、このコースは高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民）の資格の取得などを目指す場合にも有意義なコースです。さらに、「租税制度論特論」「所得税法特論」「法人税法特論」「消費税法特殊講義特論」等といった税理士資格取得の足がかりとなりうる科目も設置されています。

## 大学院修了要件及び学位

### 博士課程前期課程

大学院に 2 年以上在学し、大学院経済学研究科履修細則に定める授業科目（研究指導含む）の単位を 30 単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上で、修士（経済学）の学位論文を在学期間中に提出してその審査及び最終試験に合格することによって、修士（経済学）の学位が授与されます。ただし、大学院の在学期間に関しては、学長が優れた研究業績を上げたと認める者については、大学院に 1 年以上在学すれば足りるものとします。

### 博士課程後期課程

大学院に 5 年（前期課程における 2 年の在学期間を含む）以上在学し、大学院経済学研究科履修細則に定める授業科目（研究指導含む）の単位を 36 単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士（経済学）の学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格することによって、博士（経済学）の学位が授与されます。ただし、大学院の在学期間に関しては、学長が優れた研究業績を上げたと認める者については、大学院に 3 年（前期課程における 2 年の在学期間を含む）以上在学すれば足りるものとします。

## 大学院研究生制度

広島経済大学大学院には、学部教育課程や大学院の課程で修得した成果を基礎にして、一層の研究を積み重ね、大学院担当の指導教員のもとで、より深い知識を得、あるいは大学院への進学に備えて学識を深めることを志す学生の要望に応えるために、研究生制度が設けられています。

これまでに国内外から幾多の有能な人材が大学院研究生として在籍し、学界、官界、実業界で活躍しています。

大学院研究生の研究期間は1年と定められていますが、さらに研究を続けたい者に対しては、1年に限って期間延長も認められています。

大学院研究生は指導教員を定め、指導教員の指示に基づいて研究に専念することになり、大学院生用研究室の利用、大学院生の発行する研究論文集への投稿などの特典が与えられます。1年間の研究期間終了後は、在籍期間証明書が交付されます。

## 教育職員免許状取得プログラム

広島経済大学大学院では、高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民）の授与を受けるための資格が取得できます。

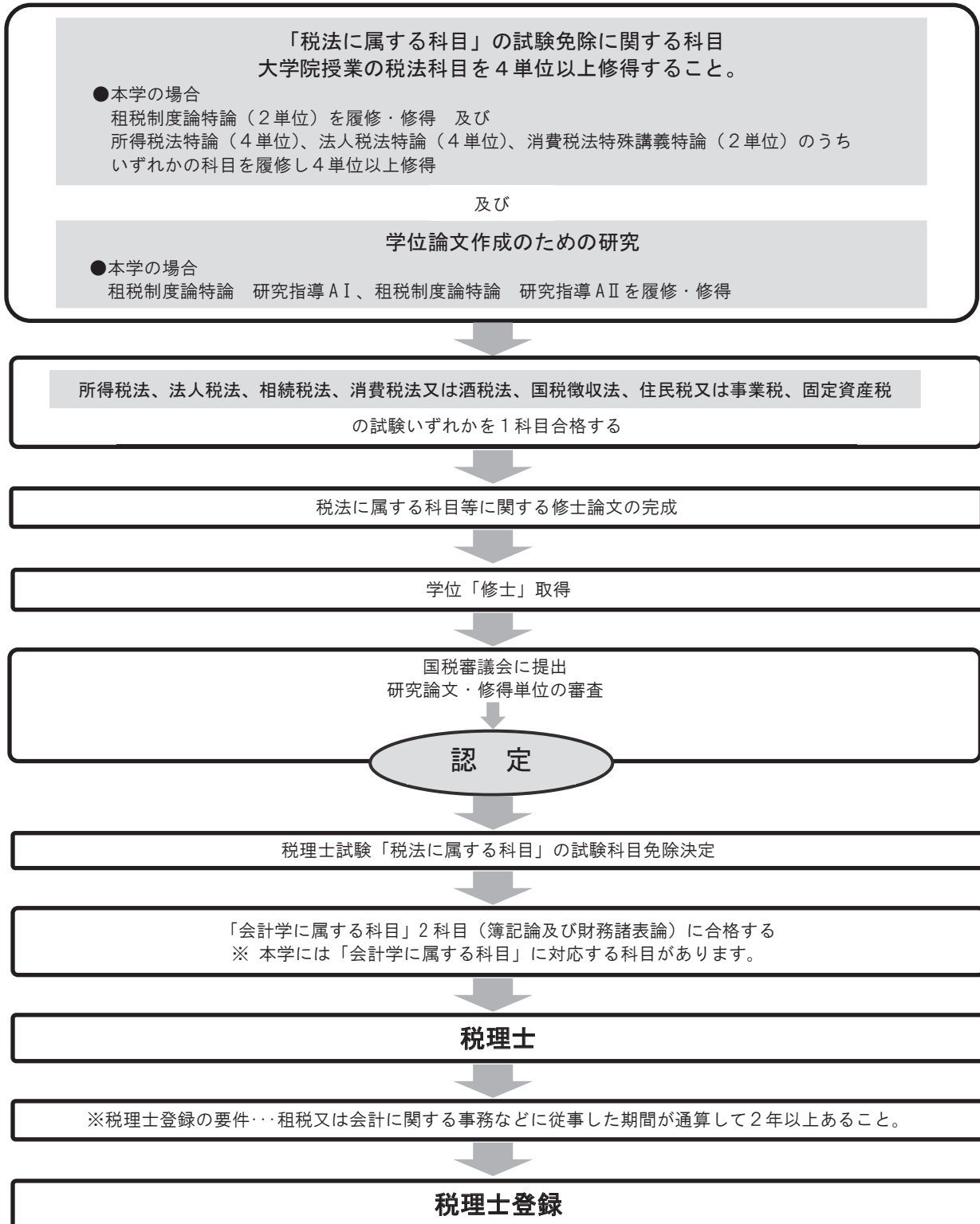
この教育職員の免許状が授与されるための所要資格を取得しようとする者は、当該教科の高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有する者で、修士の学位を取得し、かつ教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければなりません。

## 長期履修学生制度

広島経済大学大学院では、職業を有している等の事情により、標準修業年限では教育課程の履修が困難な学生のために長期履修学生制度を設け、より多くの学生が本大学院で研究する機会を得ることができるよう門戸を開いています。この制度を利用すれば、授業料、施設費については、許可された修業年限で分割して納入することができるので、経済的負担が軽減されます。

# 税理士試験「税法」に属する科目の免除申請が可能

大学院経済学研究科博士課程前期課程では、学位取得により、2002（平成14）年4月施行の改正税理士法に基づき、税理士試験「税法」に属する科目の一部免除を申請することができます。（詳細は国税庁ホームページをご確認ください）



# 経済学研究科経済学専攻博士課程〔前期課程〕授業科目

## ＜研究者養成コース・経済学専修コース＞

下表は、2026年度に開講されている授業科目です。2027年度については、授業担当者の変更等が生じる可能性がありますので、出願前にお問い合わせください。

- 〔注〕 1. 研究指導Bは、研究者養成コースのみの授業科目です。  
 2. 「\*」のある授業担当者は、担当年度に限りがあります。（予定含む）  
 3. 特設科目の「所得税法特論」「法人税法特論」「消費税法特殊講義特論」「会計監査論特論」、「法学特殊講義特論」は、経済学専修コースのみの授業科目です。

部門	授業科目	単位	履修区分	開講区分	授 業 担 当 者	研究指導	備 考 (履修条件)	
基礎科目	ミクロ経済学	4		通年	教授 堀江 真由美	○		
	マクロ経済学	4		通年	非常勤講師 山根 智沙子			
	データ分析入門	4		通年	教授 得津 康義			
	外書講読（英語）	4		通年	教授 小笠原 礼以			
	外書講読（ドイツ語）	4						2026年度 開講せず
	外書講読（フランス語）	4						2026年度 開講せず
理論経済学	理論経済学特論Ⅰ	2		前	教授 堀江 真由美	○		
	理論経済学特論Ⅱ	2		後	非常勤講師 山根 智沙子			
	計量経済学特論	2		後	教授 得津 康義	○		
	数理経済学特論	2		後			2026年度 開講せず	
	国際経済学特論	2		前	教授 小笠原 礼以	○		
	経済学史特論Ⅰ	2		前	非常勤講師 林 直樹			
	経済学史特論Ⅱ	2		後	非常勤講師 林 直樹			
経済史	西洋経済史特論Ⅰ	2		前	教授 竹林 栄治	○		
	西洋経済史特論Ⅱ	2		後	教授 竹林 栄治			
	東洋経済史特論Ⅰ	2						2026年度 開講せず
	東洋経済史特論Ⅱ	2						2026年度 開講せず
	日本経済史特論Ⅰ	2						2026年度 開講せず
	日本経済史特論Ⅱ	2						2026年度 開講せず
経済政策	経済政策論特論Ⅰ	2		前	教授 野北 晴子	○		
	経済政策論特論Ⅱ	2		後	教授 野北 晴子			
	商業経済論特論	2		後	教授 細井 謙一		○	
	国際貿易論特論Ⅰ	2		前	教授 広田 堅志		○	
	国際貿易論特論Ⅱ	2		後	教授 広田 堅志			
	労働経済学特論	2		前	非常勤講師 岡村 和明			
財政学・金融論	財政学特論	2		前	教授 一橋 信之	○	研究指導はAⅡのみ	
	金融論特論	2		後	非常勤講師 西脇 廣治			
	国際金融論特論	2						2026年度 開講せず
	ファイナンス特論	2		前	教授 重本 洋一		○	
	租税制度論特論	2		前	教授 一橋 信之		○	
	経済法特論	2		前				2026年度 開講せず
統計学	経済統計学特論	2					2026年度 開講せず	
	統計情報論特論	2		前	教授 得津 康義			
経営学	経営管理論特論	2		前	教授 瀬戸 正則	○		
	人的資源論特論	2		後	教授 瀬戸 正則			
	経営史特論	2						2026年度 開講せず
	国際経営論特論	2		前	教授 松川 佳洋		○	
	経営情報論特論	2		前	准教授 石野 亜耶		○	
	経営科学特論	2		後	教授 丹羽 啓一		○	
	管理会計論特論	2						2026年度 開講せず
	財務会計論特論	2		後	非常勤講師 松浦 良行			

部門	授 業 科 目	単 位	履 修 区 分	開 講 区 分	授 業 担 当 者	研 究 指 導	備 考 (履修条件)
地域研究	開発経済論特論Ⅰ	2		前	教授 平本 賢了	○	
	開発経済論特論Ⅱ	2		後	教授 平本 賢了		
	地域研究特論Ⅰ	2					2026年度 開講せず
	地域研究特論Ⅱ	2					2026年度 開講せず
	国際経済交流論特論Ⅰ	2		前	教授 楊 義申	○	
	国際経済交流論特論Ⅱ	2		後	教授 楊 義申		
	環境・資源情報論特論Ⅰ	2		前	教授 田中 章司郎*		
	環境・資源情報論特論Ⅱ	2		後	教授 田中 章司郎*		
研究指導	研究指導 AⅠ	4	◎	通年	教授 堀江 真由美		
					教授 得津 康義		
					教授 小笠原 礼以		
					教授 竹林 栄治		
					教授 野北 晴子		
					教授 細井 謙一		
					教授 広田 堅志		
					教授 一橋 信之		
					教授 重本 洋一		
					教授 瀬戸 正則		
					教授 松川 佳洋		
					教授 丹羽 啓一		
					教授 平本 賢了		
					教授 楊 義申		
	准教授 石野 亜耶						
	研究指導 AⅡ	4	◎	通年	教授 堀江 真由美		
					教授 得津 康義		
					教授 小笠原 礼以		
					教授 竹林 栄治		
					教授 野北 晴子		
					教授 細井 謙一		
					教授 広田 堅志		
					教授 一橋 信之		
					教授 重本 洋一		
					教授 瀬戸 正則		
					教授 松川 佳洋		
					教授 丹羽 啓一		
					教授 平本 賢了		
					教授 楊 義申		
	准教授 福田 正太郎*						
	准教授 石野 亜耶						
	研究指導 B	4	◎	通年	教授 堀江 真由美		
					教授 得津 康義		
					教授 小笠原 礼以		
					教授 竹林 栄治		
					教授 野北 晴子		
教授 細井 謙一							
教授 広田 堅志							
教授 一橋 信之							
教授 重本 洋一							
教授 瀬戸 正則							
教授 松川 佳洋							
教授 丹羽 啓一							
教授 平本 賢了							
教授 楊 義申							
教授 田中 章司郎*							
准教授 福田 正太郎*							
准教授 石野 亜耶							
特設科目	経済学特殊講義特論	2					2026年度 開講せず
	所得税法特論	4		通年	准教授 福田 正太郎*		
	法人税法特論	4		通年	准教授 福田 正太郎*		
	消費税法特殊講義特論	2		前	非常勤講師 鈴木 貴大		
	会計監査論特論	4		通年			2026年度 開講せず
	法学特殊講義特論	2		前	非常勤講師 尾山 慎太郎		
	社会認識教育学特論A	2		前	教授 胤森 裕暢		※修了要件単位に含まない
	社会認識教育学特論B	2		後	教授 胤森 裕暢		※修了要件単位に含まない

# 経済学研究科経済学専攻博士課程〔後期課程〕授業科目

## 《研究者養成コース》

下表は、2026年度に開講されている授業科目です。2027年度については、授業担当者の変更等が生じる可能性がありますので、出願前にお問い合わせください。

〔注〕 1. 「\*」のある授業担当者は、担当年度に限りがあります。（予定含む）

部門	授業科目	単位	履修	開講	授業担当者	研究指導	備考 (履修条件)
理論経済学	理論経済学特殊研究 I	2					2026年度 開講せず
	理論経済学特殊研究 II	2					2026年度 開講せず
	計量経済学特殊研究	2		後	教授 得津 康義	○	
	数理経済学特殊研究	2					2026年度 開講せず
	国際経済学特殊研究	2					2026年度 開講せず
	経済学史特殊研究	2					2026年度 開講せず
経済史	西洋経済史特殊研究	2					2026年度 開講せず
	日本経済史特殊研究	2					2026年度 開講せず
経済政策	経済政策論特殊研究	2		後	教授 野北 晴子	○	
	商業経済論特殊研究	2		前	教授 細井 謙一	○	
	中国貿易論特殊研究	2		前	教授 広田 堅志	○	
	労働経済学特殊研究	2					2026年度 開講せず
財政学・金融論	財政学特殊研究	2					2026年度 開講せず
	金融論特殊研究	2		前	非常勤講師 西脇 廣治		
	国際金融論特殊研究	2					2026年度 開講せず
	ファイナンス特殊研究	2		前	教授 重本 洋一	○	
統計学	経済統計学特殊研究	2					2026年度 開講せず
経営学	経営管理論特殊研究	2					2026年度 開講せず
	人的資源論特殊研究	2		前	教授 瀬戸 正則	○	
	経営科学特殊研究	2		前	教授 丹羽 啓一	○	
	経営情報論特殊研究	2					2026年度 開講せず
地域研究	地域研究特殊研究	2		前	教授 平本 賢了		
	国際経済交流論特殊研究	2		後	教授 楊 義申		
	Special Studies on Environment and Resource Informatics	2		後	教授 田中 章司郎*		英語による授業科目
研究指導	研究指導 Research Guidance	24	◎	通年	教授 得津 康義		
					教授 野北 晴子		
					教授 細井 謙一		
					教授 広田 堅志		
					教授 重本 洋一		
					教授 瀬戸 正則		
					教授 丹羽 啓一		

## 授業科目の概要及び担当教員

### 博士課程前期課程

※2027年度開講科目については11月頃に確認してください。

\*印の科目は研究指導があります。

科目名	担当教員	授業科目の概要
ミクロ経済学	教授 博士（経済学）  堀江 真由美	<p>本講は、ミクロ経済学の基礎的な知識と手法を身につけ、ミクロ経済学の考え方や手法を用いた記事、論説、論文等を読んで理解できるようになり、将来的にはミクロ経済学の考え方やアイデアを研究に取り入れられるようになることを目標としています。</p> <p>大学院で身につけておきたいミクロ経済学の内容を中心に、経済学部で学ぶ内容から始めて大学院で学んでおきたい内容まで段階的に解説していきます。講義は、受講者がテキストの内容や練習問題を説明し、解説する形式で進めていきます。途中、必要に応じて、初歩的な数学の解説、問題演習等を行います。進捗状況に合わせて、練習問題を課題として解き、提出してもらうことがあります。尚、受講生の到達目標と理解度に合わせて、テキストや授業内容を一部変更する等の対応を考えています。</p>
マクロ経済学	非常勤講師 (県立広島大学地域 創生学部教授) 博士（経済学）  山根 智沙子	<p>本講義では、マクロ経済学の概念や基本的な理論、数学について体系的に解説していきます。さらに、短期モデルと長期均衡モデルの違い、金融政策や財政政策が効果を発揮するメカニズムについて解説します。</p>
データ分析入門	教授 博士（経済学）  得津 康義	<p>本講義では、観察されたデータをどのように処理し、出てきた結果についていかに解釈するかを学ぶ。そのための統計手法やその背後にある確率について講義をする。また、実際にデータの処理を行うために Excel や R と言ったソフトウェアの使い方を講義し、受講生にはそれらのソフトウェアを使った実習をしてもらう。本講義の目的は、意思決定におけるデータの活用方法を習得することである。</p>
外書購読（英語）	教授  小笠原 礼以	<p>本年度は、J. M. ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』（J. M. Keynes, <i>The general Theory of Employment, Interest, and Money</i>, MacMillan, 1936）をテキストとして使用する。世界恐慌の余波が残る1930年代戦間期において世界経済が瓦解する中で出版された本書は、混迷する現代のグローバル経済に多くの示唆を与えてくれる。講義では特に第12章「長期期待の状態」を取り上げる。同章においてケインズは、「私自身としては、現在、利子率に影響を及ぼそうとする単なる貨幣政策が成功するかどうかについていささか疑いをもっている。私は、資本財の限界効率を長期的な観点から、一般的、社会的利益を基礎にして計算することのできる国家が、投資を直接に組織するために今後ますます大きな責任を負うようになることを期待している。」（塩野谷祐一訳 東洋経済新報社）と主張した。本講義を通じて、今日的観点からケインズの抱いた問題意識を皆さんと議論したい。</p>
理論経済学特論 I*	教授 博士（経済学）  堀江 真由美	<p>現在、ミクロ・マクロ経済学、実験・行動経済学など、幅広い研究分野において、理論モデルを用いた分析手法を理解することが必須となっています。本特論では、理論経済学のミクロ経済学分野から、ゲーム理論をベースとしたミクロ経済学理論、意思決定理論に関わる基礎知識を習得し、関連分野の文献で用いられる手法を身につけ理解を深めていきます。そのため、本特論では、受講者と一緒にテキストを輪読しながら、数理モデルを組み立てて解くトレーニングをします。</p>

科目名	担当教員	授業科目の概要
理論経済学特論 II	非常勤講師 (県立広島大学地域 創生学部教授) 博士(経済学)  山根 智沙子	本講義は、マクロ経済学に関する論文を読む際に必要となる基礎知識、および修士論文を執筆するために必要な分析手法について解説していきます。具体的には、経済成長に関する理論モデル(ソロー・モデル、世代重複モデル、内生的成長理論など)の枠組みを解説するとともに、経済成長に関する実証分析手法について解説します。
計量経済学特論*	教授 博士(経済学)  得津 康義	本講義では、計量経済学の基礎となる回帰分析と実証分析をする際に必要となる様々な問題を学ぶ。この講義の目的は、受講生が実証分析をするときに必要な方法を習得することである。本講義で扱うトピックは以下のとおりである。 ●ダミー変数とトレンド変数 ●F検定と構造変化の検定 ●不均一分散 ●かく乱項の系列相関 ●説明変数とかく乱項の相関
国際経済学特論*	教授  小笠原 礼以	本講義では、国家間のマクロ経済的相互依存関係を理解するために不可欠である開放マクロ経済学の基礎について学びます。開放マクロ経済学のフレームワークを用いながら、先進諸国における大規模金融緩和やその「出口戦略」の影響など、いくつかの国際経済に関する今日的課題について考えます。
経済学史特論 I・II	非常勤講師 (尾道市立大学経済 情報学部教授) 博士(経済学)  林 直樹	この授業では現代経済学の形成過程を学びます。ジョン・メイナード・ケインズはかつて、現在のところしか知らないことと、過去のことしか知らないことと、どちらが人より頑固にするかは分からないと述べましたが、現在をさらに深く見据え、もっともな将来展望を得るためには、繰り返し原点に立ち返って、自らの立ち位置を確認する必要があるでしょう。その知的作業の一環として、経済学史は大いに役立つと考えています。
西洋経済史特論 I・II*	教授  竹林 栄治	西洋経済史特論 I 西洋経済史特論 I では中世・近世のヨーロッパを取り上げます。この時代の経済社会の特徴を、経済・分業・市場・貨幣・信用等の経済学の基本的概念や人文社会科学分野の基本的概念を援用して、理解します。特に経済発展に大きな影響を与えたと思われる社会装置(国家や制度)の重要性を考えます。  西洋経済史特論 II 西洋経済史特論 II では近代・現代のヨーロッパを取り上げます。この時代の経済社会の特徴を、経済・分業・市場・貨幣・信用等の経済学の基本的概念や人文社会科学分野の基本的概念を援用して、理解します。特に生産工程の機械化によって供給不足を根本的に解消した産業革命の経済的・社会的影響を考えます。
経済政策論特論 I・II*	教授  野北 晴子	家計は効用最大化のもとで、市場を通して経済活動を行い、企業も利潤最大化のもとで、市場を通して経済活動を行う。経済政策論とは、そのような経済主体が活動する経済システムが、よりよく機能するためにはどうすればよいかという問題を研究する。市場の機能を監視して、効率性を図ること、そしてマクロ経済の安定化と経済の成長のために、どのように財政政策と金融政策を駆使すればよいかを考える。
商業経済論特論*	教授  細井 謙一	本講義では、商業、マーケティング、および流通システムに関する理論と現実を学ぶ。特に、今日的なマーケティングに焦点を絞り、基本的な文献を読み、事例について議論する。

科目名	担当教員	授業科目の概要
国際貿易論特論Ⅰ・Ⅱ*	教授 博士（経済学）  広田 堅志	本講義では、現行的政策課題への適用を考えながら国際貿易理論の発展について紹介する。（Ⅰ）では、国境を越えた商品やサービスの流れ、すなわち国際貿易を決定する要因を理解するための基本的なツールについて解説・討論を行う。特に以下の三つの重要なトピックを中心に講義を進める。 1) 伝統的国際貿易理論の展開を検討したうえで、産業内貿易理論について考察する。 2) 経済のグローバル化における生産工程の国際分業と技術選択の多様性について考察する。 3) 付加価値貿易：国際貿易理論の新潮流と進化し続ける国際貿易の捉え方。 （Ⅱ）では、国際貿易に関する最近の研究（理論研究と実証研究）を中心に、注目を集める学術論文の輪読、解説、討論を行う。
労働経済学特論	非常勤講師 （広島修道大学経済 科学部教授） 博士（経済学）  岡村 和明	労働経済学のテーマは人々が幸せに働くことのできる社会を設計することにあります。この特論では、働く人々および企業の労働市場におけるミクロ経済行動およびそのマクロ経済学的帰結を分析するための経済理論について議論します。
財政学特論	教授（税理士）  一橋 信之	成熟した混合経済体制において、政府の政策、とくに租税政策がいかにより市場経済原理を補完、阻害あるいは変革するかを経済学的手法で研究します。本講義では、財政学の理論研究と行政データによる実証分析を行います。
金融論特論	非常勤講師 （広島経済大学名誉 教授） 博士（経済学）  西脇 廣治	本授業では、高度成長期以降の我が国の金融システムについて取り上げる。我が国の金融システムはこれまで銀行中心の金融システムであったが、部分的に金融の証券化が進んでいる。本授業では、金融仲介システム、決済システム、証券取引システムなど金融システムの基本的枠組みを考察する。
ファイナンス特論*	教授 博士（経済学）  重本 洋一	本講義では、基礎的な現代ファイナンス理論の概要を解説する。ファイナンスは、「コーポレートファイナンス」と「インベストメント」の2つの分野から構成されている。本講義は、現代ファイナンス理論の理解に基づいて、この両分野を分析できるようになることを目標とする。
租税制度論特論*	教授（税理士）  一橋 信之	租税制度は法律の形式をとっている。したがって、それはまず法学の観点から考察しなければならない。一方、租税制度は経済政策の手段として機能していることから、制度の理解のためには経済学的分析が必要である。本講義はこの2つの立場から学際的に租税制度を研究することにより、学生に租税制度論の包括的かつ実務的な能力を与えるものである。 講義の前半では、法学の立場からわが国の租税制度を論じ、後半では、租税法のビジネスへの影響を考察する。
統計情報論特論	教授 博士（経済学）  得津 康義	本講義では、データ分析に必要な統計学の理論的側面を講義する。確率から始まり、確率分布、パラメータの推定、仮説検定について、順を追って講義する。また、統計ソフトの「R」を利用したシミュレーションを行うことで、上記の内容をより深く理解できることを目指す。本講義の目的は、問題解決力の選択肢をも広げ、論理的な意思決定ができるようになることである。
経営管理論特論	教授 博士（マネジメント）  瀬戸 正則	本講義は、現代の経営組織における経営管理が抱える諸課題の理解を目的とする。 具体的には、経営管理に関する代表的な研究を採り上げ、それらの視点をういて経営事例がいかにより分析できるのかを考察し、理論的および実践的な観点から理解を深める。 そこで、経営管理に関する報告資料の作成やディスカッションを通じ、本講義の所期の目的達成を図る。

科目名	担当教員	授業科目の概要
人的資源論特論*	教授 博士（マネジメント）  瀬戸 正則	本講義は、経営組織における人的資源管理が抱える諸課題の理解を目的とする。 具体的には、人的資源に関する代表的研究内容を採りあげ、それらの視点を用いて経営事例がいかにかに分析できるかを考察し、理論的および実践的な観点から理解を深める。 そこで、人的資源管理に関する報告資料の作成やディスカッションを通じ、本講義の所期の目的達成を図る。
国際経営論特論*	教授 博士（経営学）  松川 佳洋	本講義では、国際経営に関する理論と現実を学ぶ。特に、日本企業が直面する今日的な課題に焦点を絞り、基本的な日本語と英語の文献を読み、事例について議論する。国際経営論に関するレポートの作成やディスカッションを通じ、理解を深めることを目標とする。
経営情報論特論*	准教授 博士（情報科学）  石野 亜耶	本講義では、テキストデータを解析するためのテキストアナリティクス（テキストマイニング）の手法とPythonでの実装方法を学びます。さらに、経営分野の実データを対象にテキストアナリティクスを実践し、分析結果を発表します。
経営科学特論*	教授 博士（工学）  丹羽 啓一	本講義では、経営科学で扱われている分野の中から数理計画法に焦点をあて、定式化ならびに解法について解説する。具体的には、線形計画問題、整数計画問題、非線形計画問題のそれぞれの特徴について説明し、問題ごとに適用できる厳密解法、発見的方策、確率的探索アルゴリズムについて述べる。
財務会計論特論	非常勤講師 （山口大学大学院技術 経営研究科教授）  松浦 良行	本講義では、代表的な企業評価モデルの一つである残余利益モデルをベースとして、企業評価という観点から見た各種財務数値及び財務比率の理論的関係性と実践的な活用法について理解する。まず、テキストをベースとした講義によって、残余利益モデルの会計理論における位置づけと、代替的評価モデルとの比較検討を行う。次に、残余利益モデルを分解することで、各種財務数値や財務比率の企業評価における意味合いについて理解する。実際の企業を事例として残余利益モデルに基づく企業評価の実践的有用性について検討する。
開発経済論特論  ・  *	教授  平本 賢了	アジア発展途上国の経済開発に視点をおき、経済開発に関する理論の概説を講義し、また実態分析を行う。 （研究指導） 経済開発に関する問題を主要テーマとするが、受講生と相談の上、修士論文作成にそって指導する。
国際経済交流論特論  ・  *	教授 博士（経済学） 楊 義申	本講義では国際経済学の基礎知識を踏まえ、地域統合（ASEAN 共同体や EU 拡大など）、FTA による世界経済構造の再編、持続可能な経済発展、先進国と新興国の経済摩擦などの諸問題を取り上げるとともに、国際経済交流の拡大と地域経済のグローバル化に伴って一国・一地域に与えた影響を分析し、国際経済交流の必要性について議論します。具体的な例として中国を取り上げて検証します。
環境・資源情報論特論  ・	教授 博士（学術）  田中 章司郎	環境を変化させている最大の要因の一つは、ヒトです。ヒトの活動と環境の変化との関係は二酸化炭素濃度に限りません。経済指標、日々の株価、アメダス、さらには人工衛星データなど膨大な情報が時々刻々と集積されています。この講義では、これらのビッグデータを用いて、ヒトと環境・資源の関係を、情報技術を用いて探ります。
所得税法特論	准教授（税理士）  福田 正太郎	法律学の角度から、現行の日本の所得税の制度の基本的な部分について、その客観的な姿を理解することを目標としている。また、裁判例・裁決例等により、実際の課税事例を検討することで、実務上の対応能力を身につけることを目指す。

科目名	担当教員	授業科目の概要
法人税法特論	准教授（税理士） 福田 正太郎	法人税法には、その表面的な複雑さとは別に、基本的な考え方というものがある。これを理解することができれば、その時から「法人税法は案外やさしい」ということになる。したがって、その背後にある基本的な考え方や経緯を理解するための正しい知識と情報を提供し、一緒に考える場を提供することを目標とする。
消費税法特殊講義特論	非常勤講師（税理士） 鈴木 貴大	消費税は、モノやサービスの消費に対して課される税です。消費者が負担した税を、事業者が所定の計算を経て納付する「間接税」の仕組みをとっています。本講義では、この消費税の独特な課税の仕組みについて、条文や通達を丁寧に読み解きながら、制度の理解を深めます。
法学特殊講義特論	非常勤講師（弁護士） 尾山 慎太郎	実務で目にする事となる各種契約書や登記などを通して、関連する法律条文や判例を検討し、実務で必要となる法的知識の基礎を学ぶ。合わせて、家族法、相続法、会社法の基礎を学ぶ。
社会認識教育学特論 A・B	教授 博士（教育学） 胤森 裕暢	本授業では公民科教育と地理歴史科教育について、社会認識教育学の諸理論により理解を深めていきます。 また、実践（公民科や地理歴史科、社会科の授業および指導計画）について、教師との議論や文献の吟味を行います。 こうした理論と実践の往還を通して、公民科や地理歴史科の教師としての授業構成能力を高めていきます。

博士課程後期課程

※2027年度開港科目については11月頃に確認してください。

\*印の科目は研究指導があります。

科目名	担当教員	授業科目の概要
計量経済学特殊研究*	教授 博士（経済学）  得津 康義	本講義では、計量経済学の先端的な分析手法とその応用例を講義し、学生の研究テーマに即した実証分析を演習形式を交えつつ指導します。
経済政策論特殊研究*	教授  野北 晴子	本講義では、大きな転換点となった日本のバブル崩壊以降の経済政策に焦点を当て、マクロ経済学的視点に基づいて分析を行う。そして財政政策、金融政策の効果について議論するためには、同時に国際経済学的な視点が必要である。そのことによって、現在の日本経済における構造的問題の原因を明らかにし、必要な政策について考察を行うことが可能となる。
商業経済論特殊研究*	教授  細井 謙一	本講義では、商業、マーケティング、および流通システムに関する理論と現実を学ぶ。特に、受講者の学位論文と関係のあるトピックに焦点を絞って、学術雑誌の論文を読み、事例について議論する。
中国貿易論特殊研究*	教授 博士（経済学）  広田 堅志	このコースでは、まず1949～78年までの計画経済体制にもとづく中国の貿易システムを概観する。次に、改革・開放政策を実施以来の中国の貿易発展戦略と貿易政策改革について、包括的なレビューと評価を行う。最後に、絶えず変化する世界の経済環境の中で中国が対処しなければならないであろう課題も含めて、今後の貿易発展政策戦略について分析を試みる。
金融論特殊研究	非常勤講師 （広島経済大学名誉教授） 博士（経済学）  西脇 廣治	近年、わが国の金融規制システムは競争制限的な規制から健全性規制に移行してきた。本授業では、新しい金融規制、金融イノベーションについて検討する。
ファイナンス特殊研究*	教授 博士（経済学）  重本 洋一	本講義では、高度な現代ファイナンス理論の概要を解説する。本講義の目標は、高度な現代ファイナンス理論の理解に基づいて、コーポレートファイナンス（企業金融）を分析できるようになることである。
人的資源論特殊研究*	教授 博士（マネジメント）  瀬戸 正則	本講義のテーマは「理念・戦略に基づく人的資源管理」である。とりわけ、戦略の実行・創造プロセスにおいて組織メンバーはいかに協働し、人的資源管理はいかに成員と組織に関わっていくべきかといった視点から、ゴーイング・コンサーンにおいて人的資源管理が果たす機能・役割について考察する。
経営科学特殊研究	教授 博士（工学）  丹羽 啓一	本講義では、数理計画問題に適用されているAI（人工知能）による解法について解説する。具体的には、整数計画問題や非線形計画問題を解くために用いられている群知能や進化計算手法について理論的に学ぶとともにプログラミングによって実装し、簡単な数値実験を行うことで手法の有効性について検証する。
地域研究特殊研究	教授  平本 賢了	地域開発は、インクルーシブな成長の達成とその持続がきわめて重要となる。本授業では、開発途上国及び新興国における政府の地域開発政策に焦点を当て、同政策の役割と成果及び課題について検討を行う。地域開発事例としてインドネシアを取り上げる。
国際経済交流論特殊研究	教授 博士（経済学）  楊 義申	自由競争市場を重視すべきか、それとも計画統制国家を重視すべきか、または市場主導による経済交流、統合を推進すべきか、国家主導による経済交流、統合を推進すべきか、これは今のグローバル経済において、非常に注目されています。事例として中国・アメリカの経済交流と経済戦争を取り上げ、市場と国家の関係を分析するとともに、米中両国の国際経済戦略を検討し、世界各国の経済摩擦、持続可能かつグローバルな経済発展などの分野において、国際経済交流の重要性を理解することを目指します。

科目名	担当教員	授業科目の概要
Special Studies on Environment and Resource Informatics	教授 博士（学術）  田中 章司郎	<p>To understand human aspects of environmental change and sustainable economic development increasingly requires interdisciplinary understanding and assessment of the interactions between human and environmental systems. This course tries to dissolve the causality by identifying the factors one-by-one with shape of mathematical functions, and to bring the true mechanism of the phenomena to light. The algorithmic performance improvement shall also be a research topic.</p> <p>産業連関分析やネットワーク分析は、予め何らかの関連を明示的に定義する必要があるのに対して、ヒトの経済活動と環境・資源との相互依存性については、明示的に事前に要因を特定することは困難です。この特殊研究では、人工衛星データなどで測定された環境変化の要因を、分野横断的に実データを解析することにより、一つ一つ関数として特定してそのメカニズムを推定していきます。また、その際の計算を高速化するアルゴリズムも研究の対象となります。</p> <p>※This course proceeds in English. (本授業は英語により行われる)</p>

# 入学試験要項

一般選抜（前期課程）

一般選抜（後期課程）

社会人特別選抜（前期課程）

# 2027年度 一般選抜（前期課程・後期課程）入学試験要項

## 1 募集人員

研究科/専攻	課程 / コース		募集人員
経済学研究科 経済学専攻	博士課程前期課程（修士）	研究者養成コース ※1	10名 （外国人留学生、国外受験者、 外国人留学生指定校推薦を含む。）
		経済学専修コース	
	博士課程後期課程（博士）	研究者養成コース ※1	3名 （外国人留学生、国外受験者を含む。）

※1 研究者養成コースはⅡ期のみ実施します。

## 2 入学試験日程

区分	課程	コース	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
Ⅰ期	博士課程前期課程	経済学専修コース	2026年 7月1日(水) ～7月15日(水) 締切日消印有効	2026年 9月1日(火) 9月2日(水)	2026年 9月10日(木) 午前10時	2026年 10月16日(金)
Ⅱ期	博士課程前期課程	研究者養成コース 経済学専修コース	2027年 1月4日(月) ～1月15日(金) 締切日消印有効	2027年 2月24日(水) 2月25日(木)	2027年 3月4日(木) 午前10時	2027年 3月24日(水)
	博士課程後期課程	研究者養成コース		2027年 2月24日(水)		

## 3 入学試験科目

課程	コース	試験科目
博士課程 前期課程	研究者養成コース (Ⅱ期のみ実施)	1. 書類選考（調査書等） 2. 筆答試験 外国語科目＝英語 ※2 (1)辞書の持ち込みを認める。（電子辞書も可） (2)外国人留学生は日本語。（辞書持ち込み不可） 専門科目＝下表の7部門から出願の際登録した2部門を選択し受験する。 3. 口述試験（30分程度）＝提出書類に記載されている内容を中心に質問する。
	経済学専修コース	1. 書類選考（調査書等） 2. 筆答試験 外国語科目＝英語 ※2 (1)辞書の持ち込みを認める。（電子辞書も可） (2)外国人留学生は日本語。（辞書持ち込み不可） 専門科目＝下表の7部門から出願の際登録した1部門を選択し受験する。 3. 口述試験（30分程度）＝提出書類に記載されている内容を中心に質問する。
部 門		
		理論経済学部門、経済史部門、経済政策部門、財政学・金融論部門、統計学部門、経営学部門、地域研究部門 の7部門

※2 「外国語科目＝英語」の受験については、TOEFL iBT 72点以上、TOEIC テスト公式認定証またはIP テストのL&R が785点以上の場合、免除することができます。TOEIC-IP テストについては、広島経済大学において実施したものに限りです。

課程	コース	試験科目
博士課程 後期課程	研究者養成コース	1. 書類選考（調査書等） 2. 筆答試験 英語 ※ <sup>3</sup> （日本人）（1）辞書の持ち込みを認める。（電子辞書も可） （2）外国人留学生は日本語。（辞書持ち込み不可） 英語 ※ <sup>3</sup> （日本人・外国人留学生共通） （3）辞書の持ち込みを認める。（電子辞書も可） 3. 口述試験＝修士論文、研究計画書に記載されている内容を中心に質問する。

※<sup>3</sup> 「英語」の受験については、TOEFL iBT 95点以上、TOEIC テスト公式認定証または IP テストの L&R が 945 点以上の場合、免除することができます。TOEIC-IP テストについては、広島経済大学において実施したものに限りま。

## 4 入学試験時間割

区分	課程／コース	試験日	試験科目		時間割	
Ⅰ 期	博士課程 前期課程 （経済学専修コース）	2026年 9月1日（火）	筆答試験	外国語科目	10:00～11:30	
				専門科目	12:30～14:30	
			口述試験 （受験者多数の場合のみ実施）		15:00～	
		2026年 9月2日（水）	口述試験		10:00～	
Ⅱ 期	博士課程 前期課程 （研究者養成コース） （経済学専修コース）	2027年 2月24日（水）	筆答試験	外国語科目	10:00～11:30	
				専門 科目	研究者養成コース	12:30～15:30
					経済学専修コース	12:30～14:30
		口述試験 （受験者多数の場合のみ実施）		15:30～		
	2027年 2月25日（木）	口述試験		10:00～		
	博士課程 後期課程 （研究者養成コース）	2027年 2月24日（水）	筆答試験	英語（日本人）	10:00～11:30	
英語（日本人・外国人留学生共通）				12:30～14:00		
口述試験			14:50～			

### 【受験上の注意】

- ①入試当日は、午前9時45分までに入試広報センター（本館2階）に集合してください。
- ②受験票は必ず持参してください。（忘れた場合は、当日入試広報センターへ申し出てください。）
- ③試験開始後30分を経過すると受験できません。
- ④不正行為をした者には退場を命じ、全科目を無効とします。
- ⑤本学の売店（セブンイレブン）で軽食を販売しています。
- ⑥入試当日は、駐車場を利用することができませんので、公共交通機関や本学のスクールバス（JR可部線下祇園駅西口の近くから運行）を利用してください。

## 5 入学試験会場

区分	試験会場
I 期	広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 広島経済大学
II 期	

## 6 出願資格

次の各号のいずれか一つの基準に該当する者。

### 1. 博士課程 前期課程

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、又は2027年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定により指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの。
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者、及び2027年3月31日までに22歳に達するもの。

- 上記出願資格の(9) (10)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、事前に必ず入試広報センターへお問い合わせください。審査に必要な書類等を送付します。  
なお、事前審査に必要な書類の提出期限は、I期は6月19日（金）、II期は11月20日（金）です。

## 2. 博士課程 後期課程

- (1) 修士の学位を有する者、又は2027年3月までに取得見込みの者。
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者、又は2027年3月までに取得見込みの者。
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (6) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、又は2027年3月までに認められる見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号）
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び2027年3月31日までに24歳に達するもの。

- 上記出願資格の(9)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、事前に必ず入試広報センターへお問い合わせください。審査に必要な書類等を送付します。  
なお、事前審査に必要な書類の提出期限は、11月20日（金）です。

### 【留意事項】

- (1) 前期課程Ⅰ期の経済学専修コースに合格した者も、前期課程Ⅱ期の研究者養成コースを受験することができます。
  - ・前期課程Ⅱ期の研究者養成コースに合格した場合、Ⅰ期合格時の納入金は、研究者養成コースの納付金に充当することができます。
  - ・研究者養成コースの試験が不合格の場合、Ⅰ期の合格は取り消しません。
- (2) 前期課程研究者養成コースに入学した者は、前期課程に配当された単位（学位〔修士〕論文を含む）を修得後、無試験で後期課程に進学することができます。

## 7 出願手続

出願はすべて郵送によるものとし、本学の窓口では受け付けません。

出 願 先
広島経済大学 入試広報センター 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目3 7番1号

★入試に関するお問合せ先 082-871-1313（直通）受付時間 8：45～17：30（土・日・祝祭日は休業）

注）一度受け付けた提出書類及び入学検定料は一切返還しません。

## 8 提出書類

### 1. 博士課程 前期課程

<input type="checkbox"/> 入学願書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・必ず本人が記入してください。</li><li>・願書裏面の記入上の注意をよく読み、P38の記入例を参考にし、正確に記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 調査書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。 (本学学生及び卒業生は、事前に学務センター教務課へ相談してください。)</li></ul>
<input type="checkbox"/> 成績証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> ①整理票、②受験票…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・入学検定料は、本学所定の振込用紙を使用し直接金融機関の窓口で振り込むか、ATM・インターネットバンキングで振り込んでください。<ul style="list-style-type: none"><li>①金融機関窓口で振り込む場合は、①整理票、②受験票、③入学検定料領収書、④振込依頼票に必要事項を記入した上で、金融機関の窓口に入学金検定料とともに持参し、③・④票に「取扱銀行収納印」を押印してもらい、③票を切り取って①・②票のみ提出してください。③票は本人が保管してください。</li><li>②ATM・インターネットバンキングで振り込む場合は、④振込依頼票に記載してある「整理番号」と「志願者名」を必ず入力してください。利用する金融機関の諸条件により、振込手数料が必要となる場合があります。③・④票は切り取って、①・②票に必要事項を記入し提出してください。</li></ul></li><li>・最近3か月以内に撮影した鮮明な写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に課程種別、氏名を記入)を①票の所定の位置に貼付してください。</li><li>・②受験票の表に本人の住所、氏名を記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 最終出身学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。</li><li>・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において学位を授与された者は「学位授与証明書」、学位を授与される見込みの者は「学位授与申請受理証明書」を提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 研究計画書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・研究計画を詳細に記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 在職証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>・現在在職中の者のみ提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 長期履修学生申請書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・長期履修学生として修学を希望する者のみ提出してください。 長期履修学生制度については、P27でご確認ください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> TOEIC等のスコア…… <b>写し</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「外国語科目＝英語」の受験の免除を希望する者のみ提出してください。 ただし、スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以内のものに限ります。</li></ul>

提出書類に虚偽の記載があった場合は、受験を取り消します。

また、合格した後に虚偽の記載が判明した場合においても、入学資格を取り消します。

## 2. 博士課程 後期課程

<input type="checkbox"/> 入学願書…… <b>本学所定のもの</b> ・必ず本人が記入してください。 ・願書裏面の記入上の注意をよく読み、P39の記入例を参考にし、正確に記入してください。
<input type="checkbox"/> 調査書…… <b>本学所定のもの</b> ・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。 （本学学生及び卒業生は、事前に学務センター教務課へ相談してください。）
<input type="checkbox"/> 成績証明書 ・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。
<input type="checkbox"/> ④整理票、⑤受験票…… <b>本学所定のもの</b> ・入学検定料は、本学所定の振込用紙を使用し直接金融機関の窓口で振り込むか、ATM・インターネットバンキングで振り込んでください。 ①金融機関窓口で振り込む場合は、④整理票、⑤受験票、⑥入学検定料領収書、⑦振込依頼票に必要事項を記入した上で、金融機関の窓口に入学金検定料とともに持参し、⑥・⑦票に「取扱銀行収納印」を押印してもらい、⑥票を切り取って④・⑤票のみ提出してください。⑥票は本人が保管してください。 ②ATM・インターネットバンキングで振り込む場合は、⑦振込依頼票に記載してある「整理番号」と「志願者名」を必ず入力してください。利用する金融機関の諸条件により、振込手数料が必要となる場合があります。⑥・⑦票は切り取って、④・⑤票に必要事項を記入し提出してください。 ・最近3か月以内に撮影した鮮明な写真（縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に課程種別、氏名を記入）を④票の所定の位置に貼付してください。 ・⑤受験票の表に本人の住所、氏名を記入してください。
<input type="checkbox"/> 博士課程前期課程の修了証明書又は修了見込証明書 ・最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。
<input type="checkbox"/> 学位〔修士〕論文※…… <b>写し</b> ・本学博士課程前期課程修了見込みの者については、提出済みの修士論文を代用します。
<input type="checkbox"/> 学位〔修士〕論文の要旨を記載した書類※…… <b>本学所定の調査書に記載</b>
<input type="checkbox"/> 副論文※ ・博士課程前期課程の修了者においては、修士論文のほか研究成果を示す業績がある場合、これを副論文として提出することができます。
<input type="checkbox"/> 博士課程前期課程〔修士課程〕研究指導教授の推薦書…… <b>様式任意</b>
<input type="checkbox"/> 研究計画書…… <b>本学所定のもの</b> ・研究計画を詳細に記入してください。
<input type="checkbox"/> 在職証明書 ・現在在職中の者のみ提出してください。
<input type="checkbox"/> 長期履修学生申請書…… <b>本学所定のもの</b> ・長期履修学生として修学を希望する者のみ提出してください。 長期履修学生制度については、P27でご確認ください。
<input type="checkbox"/> TOEIC等のスコア…… <b>写し</b> ・「英語」の受験の免除を希望する者のみ提出してください。 ただし、スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以内のものに限ります。

※大学院設置基準第16条の2に規定する「博士論文研究基礎力審査」に合格し、修士号を得た者は、審査に関する資料を提出してください。

【例】当該審査の合格の基準

提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消します。

また、合格した後に虚偽の記載が判明した場合においても、入学資格を取り消します。

# 2027年度 社会人特別選抜（前期課程）入学試験要項

## 1 募集人員

研究科／専攻	課程／コース		募集人員
経済学研究科経済学専攻	博士課程前期課程（修士）	経済学専修コース	若干名 （外国人留学生を含む。）

## 2 入学試験日程

区分	課程	コース	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
I期	博士課程前期課程	経済学専修コース	2026年 7月1日(水) ～7月15日(水) 締切日消印有効	2026年 9月2日(水)	2026年 9月10日(木) 午前10時	2026年 10月16日(金)
II期	博士課程前期課程	経済学専修コース	2027年 1月4日(月) ～1月15日(金) 締切日消印有効	2027年 2月25日(木)	2027年 3月4日(木) 午前10時	2027年 3月24日(水)

## 3 入学試験科目

課程	コース	試験科目
博士課程前期課程	経済学専修コース	1. 書類選考（調査書等） 2. 口述試験（45分程度）＝提出書類に記載されている内容を中心に質問する。

## 4 入学試験時間割

区分	課程／コース	試験日	試験科目	時間割
I期	博士課程前期課程 （経済学専修コース）	2026年 9月2日(水)	口述試験	10:00～
II期		2027年 2月25日(木)	口述試験	10:00～

### 【受験上の注意】

- ①入試当日は、午前9時45分までに入試広報センター（本館2階）に集合してください。
- ②受験票は必ず持参してください。（忘れた場合は、当日入試広報センターへ申し出てください。）
- ③試験開始後30分を経過すると受験できません。
- ④不正行為をした者には退場を命じ、全科目を無効とします。
- ⑤本学の売店（セブンイレブン）で軽食を販売しています。
- ⑥入試当日は、駐車場を利用することができませんので、公共交通機関や本学のスクールバス（JR可部線下祇園駅西口の近くから運行）を利用してください。

## 5 入学試験会場

区分	試験場
I 期	広島経済大学 入試広報センター 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
II 期	

## 6 出願資格

入学予定時において、次の各号の一つに該当する者で、3年以上の就業経験<sup>※</sup>のある者。又は、入学予定時において、学士の学位取得後5年以上経た者。

※就業経験とは、職業（自営業含む）に従事している人（正規雇用及び臨時雇用）や、家事、育児、介護等に携わるものをいう。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、又は2027年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定により指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2027年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は2027年3月までに修了見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者、及び2027年3月31日までに22歳に達するもの。

- 上記出願資格の(9) (10)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、事前に必ず入試広報センターへお問い合わせください。審査に必要な書類を送付します。  
なお、事前審査に必要な書類の提出期限は、I期は6月19日（金）、II期は11月20日（金）です。

## 7 選考方法

選考は自薦書、研究計画書の内容確認に基づく口述試験及び成績証明書等を総合し、大学院での教育を受ける能力と研究意欲、入学後の研究計画性を確認して判定します。

## 8 出願手続

出願はすべて郵送によるものとし、本学の窓口では受け付けません。

出 願 先
広島経済大学 入試広報センター 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

★入試に関するお問合せ先 082-871-1313 (直通) 受付時間 8:45~17:30 (土・日・祝祭日は休業)

注) 一度受け付けた提出書類及び入学検定料は一切返還しません。

## 9 提出書類

<input type="checkbox"/> 入学願書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>必ず本人が記入してください。</li><li>願書裏面の記入上の注意をよく読み、P38の記入例を参考にし、正確に記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 成績証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> ④整理票、⑤受験票…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>入学検定料は、本学所定の振込用紙を使用し直接金融機関の窓口で振り込むか、ATM・インターネットバンキングで振り込んでください。<ul style="list-style-type: none"><li>①金融機関窓口で振り込む場合は、④整理票、⑤受験票、⑥入学検定料領収書、⑦振込依頼票に必要事項を記入した上で、金融機関の窓口に入学金検定料とともに持参し、④・⑦票に「取扱銀行収納印」を押印してもらい、⑥票を切り取って④・⑤票のみ提出してください。⑥票は本人が保管してください。</li><li>②ATM・インターネットバンキングで振り込む場合は、⑦振込依頼票に記載してある「整理番号」と「志願者名」を必ず入力してください。利用する金融機関の諸条件により、振込手数料が必要となる場合があります。④・⑦票は切り取って④・⑤票に必要事項を記入し提出してください。</li></ul></li><li>最近3か月以内に撮影した鮮明な写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に課程種別、氏名を記入)を④票の所定の位置に貼付してください。</li><li>⑤受験票の表に本人の住所、氏名を記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 最終出身学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。</li><li>独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において学位を授与された者は「学位授与証明書」、学位を授与される見込みの者は「学位授与申請受理証明書」を提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 自薦書 <ul style="list-style-type: none"><li>800字程度で受験動機を詳しく記入してください。(文書作成ソフトで作成してください。)</li></ul>
<input type="checkbox"/> 研究計画書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>研究計画を詳細に記入してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 在職証明書 <ul style="list-style-type: none"><li>現在在職中の者のみ提出してください。</li></ul>
<input type="checkbox"/> 長期履修学生申請書…… <b>本学所定のもの</b> <ul style="list-style-type: none"><li>長期履修学生として修学を希望する者のみ提出してください。</li><li>長期履修学生制度については、P27ページでご確認ください。</li></ul>

提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消します。

また、合格した後に虚偽の記載が判明した場合においても、入学資格を取り消します。

# 共通項目

## 1 入学検定料

1. 入学検定料： 30,000円
2. 支払方法： 所定の振込用紙で最寄りの金融機関の窓口またはATM・インターネットバンキングから期限内に振り込んでください。  
注1：入学検定料は、本学の窓口や郵送による納付は受け付けません。  
注2：納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 2 合格発表

試験区分	合格発表日
I 期	2026年9月10日（木）午前10時
II 期	2027年3月 4日（木）午前10時

本学のオフィシャルサイトから可否の確認が可能です。URLは、<https://www.hue.ac.jp/> です。  
また、受験者全員に可否結果を発送します。合格者には、入学書類も送付します。

## 3 入学手続

試験区分	入学手続締切日
I 期	2026年10月16日（金）【締切日消印有効】
II 期	2027年 3月24日（水）【締切日消印有効】

1. 合格者は所定の学費・諸納付金の納付、及びその他の諸手続を指定の期日までに完了しなければなりません。期日を過ぎると入学資格を取り消します。
2. 所定の学費・諸納付金は、入学書類と同封の振込用紙で最寄りの金融機関から期限内に振り込んでください。  
本学の窓口や郵送による納付は受け付けません。
3. 最終手続まで完了した者が、2027年3月31日（水）【締切日消印有効】までに所定の入学辞退届を提出した場合、入学金を除く、授業料、施設費、諸納付金を返還します。
4. 官公庁、その他会社などに在職中の者は、入学承諾書（様式任意）を提出してください。

## 4 学費・諸納付金

### 1. 博士課程 前期課程

（単位：円）

内 訳	納 付 金	初年度納付金 合 計	納 付 金		備 考
			前 期	後 期	
学 費	入 学 金	250,000	250,000		
	授 業 料	340,000	170,000	170,000	
	施 設 費	100,000	50,000	50,000	
諸納付金	経 済 学 会 費	1,000	1,000		
	院 生 協 議 会 費	10,000	10,000		
合 計		701,000	481,000	220,000	

- (1) 以下に該当する者は、本人の申請に基づき、審査の上、入学金の減免を行います。
  - ①本学学部から継続して大学院前期課程に入学の場合は、入学金を全額免除。  
（学部と大学院の間に研究生の期間があっても継続とみなします。）
  - ②本学学部から在籍が継続していない場合は、入学金の2分の1を減額。
  - ③他大学出身者で本学研究生から継続して大学院前期課程に入学の場合は、入学金の2分の1を減額。
- (2) 表中の金額は2026年度の内容です。

## 2. 博士課程 後期課程

(単位：円)

内 訳		納 付 金 初年度納付金 合 計	納 付 金		備 考
			前 期	後 期	
学 費	入 学 金	250,000	250,000		
	授 業 料	340,000	170,000	170,000	
	施 設 費	100,000	50,000	50,000	
諸納付金	経 済 学 会 費	1,000	1,000		
	院 生 協 議 会 費	10,000	10,000		
合 計		701,000	481,000	220,000	

(1) 以下に該当する者は、本人の申請に基づき、審査の上、入学金の減免を行います。

①本学大学院前期課程から後期課程に入学の場合は、入学金を全額免除。

②本学大学院前期課程から在籍が継続していない場合は、入学金の2分の1を減額。

(2) 表中の金額は2026年度の内容です。

## 3. 博士課程 前期課程 《長期履修生》

(単位：円)

学年	学費	2年修了	3年修了	4年修了	
1年次	入学手続時	入学金	250,000	250,000	250,000
		授業料	170,000	113,500	85,000
		施設費	50,000	33,500	25,000
		小計	470,000	397,000	360,000
	後期	授業料	170,000	113,300	85,000
		施設費	50,000	33,300	25,000
		小計	220,000	146,600	110,000
合計		690,000	543,600	470,000	
2年次	前期	授業料	170,000	113,300	85,000
		施設費	50,000	33,300	25,000
		小計	220,000	146,600	110,000
	後期	授業料	170,000	113,300	85,000
		施設費	50,000	33,300	25,000
		小計	220,000	146,600	110,000
	合計		440,000	293,200	220,000
3年次	前期	授業料		113,300	85,000
		施設費		33,300	25,000
		小計		146,600	110,000
	後期	授業料		113,300	85,000
		施設費		33,300	25,000
		小計		146,600	110,000
	合計			293,200	220,000
4年次	前期	授業料			85,000
		施設費			25,000
		小計			110,000
	後期	授業料			85,000
		施設費			25,000
		小計			110,000
	合計				220,000
総合計	学費		1,130,000	1,130,000	1,130,000

※博士課程後期課程については、別途定めます。詳細はお問い合わせください。

## 5 奨学金制度

経済的な理由で入学後修学困難な者に、学資を貸与する奨学金制度があります。

1. 日本学生支援機構奨学金  
※博士課程前期課程入学者には、授業料後払い制度もあります。
2. 地方公共団体等奨学金
3. その他外国人留学生奨学金

## 6 長期履修学生制度

この制度は、就業、家事、育児、介護等の事情により標準修業年限内での履修が困難なため、標準修業年限を超えて計画的な履修を希望する人を対象としています。授業料、施設費については、許可された修業年限で分割して納入することができます。

この制度の利用を希望する場合は、「長期履修学生申請書」に必要事項を記入の上、出願書類とともに出願期間内に提出してください。申請に基づき選考を行い、許可された者に対しては、各選抜入学試験の合格発表時に合格通知書と一緒に「長期履修学生許可書」を同封し通知いたします。

この制度の利用を希望する場合は、出願前に研究計画とあわせて、研究指導教員へ相談することを推奨します。

	標準修業年限	長期履修期間
博士課程前期課程	2年	3年、4年のいずれか
博士課程後期課程	3年	4年、5年、6年のいずれか

## 7 病気・負傷や障がい等のある受験生等への受験上の配慮及び学修上の配慮について

疾病・負傷、障がい等のために、受験上の配慮、および入学後の学修上の配慮を希望する志願者は、出願に先立ち、入試広報センター（082-871-1313）までご連絡、ご相談ください。申し出の内容（程度）に応じ、受験時、および入学後の学修環境において、可能な限り配慮措置を講じます。また、詳細なヒアリングが必要と判断される場合は本学にお越しいただくことがあります。なお、これら配慮に関する事前相談は、随時行っております。

※出願後の急な疾病・負傷が発生した場合は、速やかにご連絡ください。なお、事前相談のない急な申し出に対しては、配慮ができない場合があります。

## 8 通学について

1. 車両通学について  
自転車、バイクでの通学を希望する人は事前に登録が必要です。申請方法は、入学後、学務センター学生課までお問合せください。なお、自動車による通学は禁止しています。
2. 公共交通機関での通学について  
JR等の公共交通機関を利用する人は、「通学証明書」の発行を受け、定期券を購入することになります。合格後、合格通知書と共に、「通学証明書発行申込書」をお送りいたしますので、希望する人は提出をお願いいたします。

## 個人情報の取扱いについて

出願にあたって、お知らせいただく個人情報につきましては、以下の目的以外には使用いたしません。

- 1 入学試験運営
- 2 各種送付物（受験票・合格通知・入学手続書類等）の発送
- 3 入学手続に関する事
- 4 各種統計・調査
- 5 その他入学試験に関する事

また、入学後は教育目的等で使用します。詳しくは入学手続書類でお知らせいたします。  
なお、広島経済大学個人情報保護方針は以下のとおりです。

### 学校法人石田学園広島経済大学 個人情報保護方針

学校法人石田学園広島経済大学（以下「本学」という。）は、個人の人権を尊重する立場から、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報の保護に努めます。

1. 本学は、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守します。また、学校法人石田学園広島経済大学個人情報保護規程を定め、個人情報の保護方針を着実に実行し、維持するとともに継続的な改善に努めます。
2. 本学は、個人情報保護に関する管理体制を確立するとともに、学校法人石田学園広島経済大学個人情報保護規程を教職員及びその他の関係者に周知し、その遵守徹底に努めます。
3. 本学は、個人情報を個人情報の主体である本人（以下「本人」という。）に明示、通知又は公表した利用目的の範囲内で取り扱います。また、本学は、個人情報を本人の同意がある場合又は正当な理由がある場合を除き、第三者に開示又は提供しません。
4. 本学は、個人データを正確かつ最新の状態に保つとともに、個人データへの不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えい等の予防に努めます。
5. 本学は、本人からの情報開示及び訂正等の申し出には、合理的な期間及び妥当な範囲において誠実かつ迅速に対応します。

この件に関するお問い合わせは、入試広報センター（082-871-1313）までご連絡ください。

# 広島経済大学（試験場）案内図

## 試験場 広島経済大学

広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

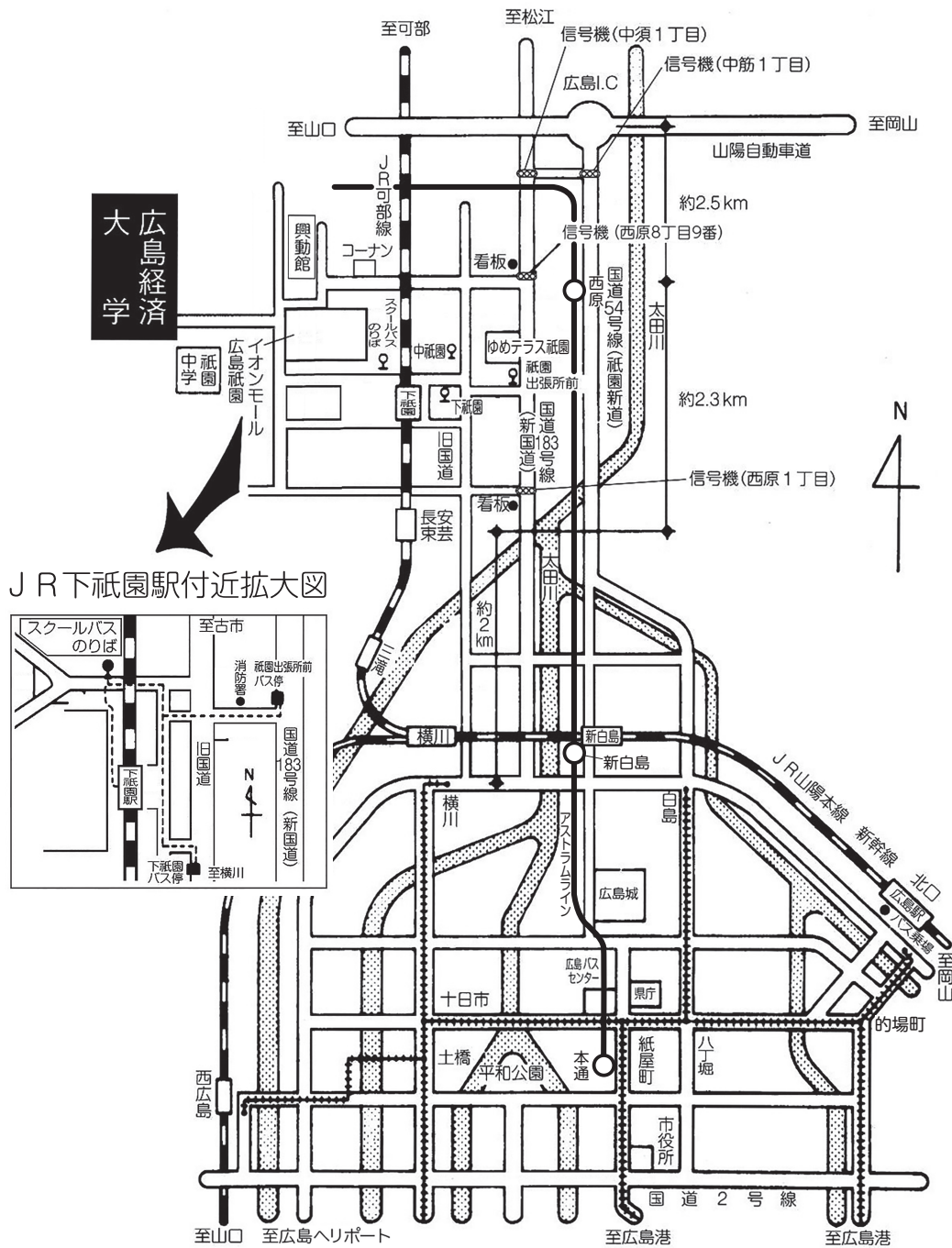
TEL 082-871-1313

### ★本学までの交通機関

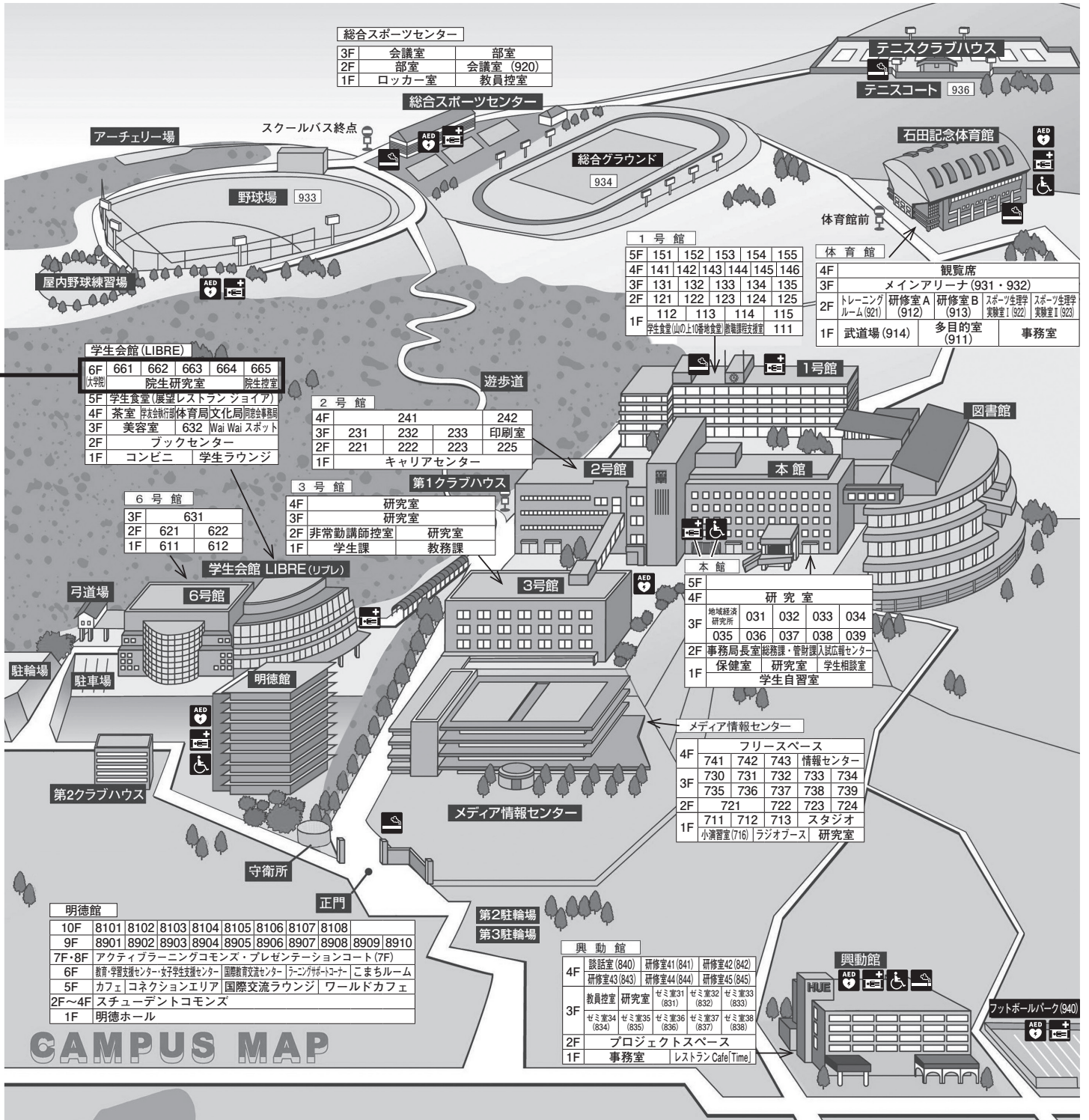
JR可部線下祇園駅にて下車

下図を参考にスクールバスを利用してください。

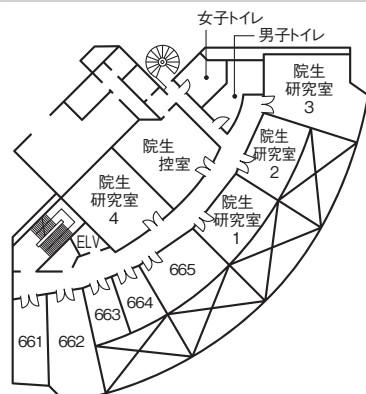
（本学まではスクールバスで5分、徒歩で約20分です。）



# キャンパスマップ



大学院専用フロア  
学生会館「LIBRE」6階



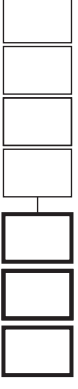
- ...AED
- ...担架
- ...車椅子
- ...喫煙所

<教室表示の例>

	1	2	5	
0: 本館				
1: 1号館				
2: 2号館		階	0~9	
6: 6号館または学生会館				
7: メディア情報センター				
	8	1	0	1
8: 明徳館	1:10階			
	9:9階			01~10



郵便はがき



---

---

様

---

通信欄

〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号  
広島経済大学 入試広報センター TEL 082-871-1313

2027年度 広島経済大学大学院入学願書【前期課程】（Ⅰ期・Ⅱ期）

ふりがな				性別 男・女	受験番号	※			
名前					<b>経済学研究科経済学専攻 博士課程 前期課程</b>				
生年月日	年 月 日生（才）				入試区分	1. 一般選抜 研究者養成コース 2. 一般選抜 経済学専修コース 3. 社会人特別選抜 経済学専修コース			
現住所	〒 TEL				受験 (一般選抜のみ)	外国語科目【一般選抜】		英語	
緊急連絡先	名前	本人との関係				専門科目 (研究者養成コースは2部門、 経済学専修コースは1部門記入)	1部門		
	〒 TEL						2部門		
					入学後志望する研究指導科目				
学歴	在学期間		出身学校名		部科名		卒業・修了・中退の別		
	年 月～ 年 月								
	年 月～ 年 月								
	年 月～ 年 月								
職歴	在職期間		会社名		所属部署・役職名				
	年 月～ 年 月								
	年 月～ 年 月								
	年 月～ 年 月								
	年 月～ 年 月								
※在職中の者は在職証明書を提出									
(その他特記事項)									
卒業論文	(論題)								
項目	内容								
志望する研究指導科目の選択理由について	.....								
	.....								
	.....								
	.....								
修了後の進路について  (就職・進学等の希望計画について)	.....								
	.....								
	.....								
	.....								

◎裏面の記入上の注意をよく読み、P38の記入例を参考にし、正確に記入してください。

# 入学願書記入上の注意事項

1. 願書上部にある、(Ⅰ期・Ⅱ期)のいずれかに○をしてください
2. ※欄は記入しないでください。
3. 専門科目(理論経済学部門、経済史部門、経済政策部門、財政学・金融論部門、統計学部門、経営学部門、地域研究部門)は一般選抜(前期課程)における「研究者養成コース」を受験する場合は7部門中2部門、「経済学専修コース」を受験する場合は7部門中1部門を選択して記入してください。
4. 入学後志望する研究指導科目は、p5～6の「経済学研究科経済学専攻博士課程〔前期課程〕授業科目」を参考に記入してください。(「研究指導」の欄に○が付いている科目が対象です。)
5. 学歴欄は高等学校以降とし、正式名称で学部学科まで記入し、卒業・卒業見込・修了・修了見込・中退の別を明記してください。
6. 職歴欄の(その他特記事項)は、就業経験が家事、育児、介護等の場合のみ、その期間を含めた内容を詳しく記入してください。  
(例) 期間 2022年4月～2026年3月  
内容 親の介護の為
7. 志望する研究指導科目の選択理由欄は、授業科目の選択、論文作成の指導など、指導教員の指導を受けることになり  
ますので、いままで研究してきたこと、いまからの研究について如何なる抱負を有するか具体的に記入してください。

# 2027年度 広島経済大学大学院【後期課程】入学願書

ふりがな					受験番号	※	
名前				性別 男・女	経済学研究科経済学専攻 博士課程 後期課程		
生年月日	年	月	日生 (才)		入試区分	一般選抜	
現住所	〒 TEL				受験	コース名	研究者養成コース
緊急連絡先	名前			本人との関係		外国語科目	英語 (日本人)
	〒 TEL				入学後志望する 研究指導科目		英語 (日本人・外国人留学生共通)
学歴	在学期間			出身学校名	部科名		卒業・修了・中退の別
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
職歴	在職期間			会社名	所属部署・役職名		
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
	年 月～	年 月					
※在職中の者は在職証明書を提出 (その他特記事項)							
項 目	内 容						
修了後の進路について (就職・進学等の希望計画について)							

◎裏面の記入上の注意をよく読み、P39の記入例を参考にし、正確に記入してください。

# 入学願書記入上の注意事項

1. ※欄は記入しないでください。
2. 入学後志望する研究指導科目は、p 7の「経済学研究科経済学専攻博士課程〔後期課程〕授業科目」を参考に記入してください。（「研究指導」の欄に○が付いている科目が対象です。）
3. 学歴欄は高等学校以降とし、正式名称で学部学科まで記入し、卒業・卒業見込・修了・修了見込・中退の別を明記してください。
4. 職歴欄の（その他特記事項）は、就業経験が家事、育児、介護等の場合のみ、その期間を含めた内容を詳しく記入してください。  
（例）期間 2022年4月～2026年3月  
内容 親の介護の為

# 2027年度 広島経済大学大学院入学願書【前期課程】（Ⅰ期・Ⅱ期）

## 記入例

ふりがな		けいだい はなこ		受験番号		※		この欄は記入しないでください		どちらかに○をつけてください	
名前		経大 花子		性別		男・女		経済学研究科経済学専攻 博士課程 前期課程			
生年月日		1996年 1月 23日生（30才）		入試区分		①一般選抜 研究者養成コース ②一般選抜 経済学専修コース ③社会人特別選抜 経済学専修コース					
現住所		〒731-0192 広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番地1号		TEL090-XXXX-XXXX		（該当するコースに○をしてください）		外国語科目【一般選抜】		英語	
緊急連絡先		名前 経大 太郎		本人との関係 夫		（受） （選） （抜） （の） （み） （験）		専門科目		1部門 財政学・金融論部門 2部門 理論経済学部門	
		〒 同上		TEL090-XXXX-XXXX		P5.6の研究指導欄に○が付いている科目を選んでください		入学後志望する研究指導科目		租税制度論特論	
		本人以外で連絡がとれる方の情報を記入してください ※電話番号は、現住所に記載した番号と違うものを必ずご記入ください									
学 歴		在 学 期 間		出 身 学 校 名		部 科 名		卒業・修了・中退の別			
		2011年 4月～ 2014年 3月		KDAI高等学校		普通科		卒業			
		2014年 4月～ 2018年 3月		広島経済大学		経済学部 経済学科		卒業			
		年 月～ 年 月									
職 歴		在 職 期 間		会 社 名		所 属 部 署 ・ 役 職 名					
		2018年 4月～ 2023年 3月		株式会社 経済商事		総務部 総務課 係長					
		年 月～ 年 月									
		年 月～ 年 月		※学歴・職歴欄は高等学校卒業以降、空白期間がないよう全て記入してください							
		年 月～ 年 月									
		（その他特記事項）		期間：2023年4月～現在に至る		内容：税理士試験の勉強をしながら家事に専念					
卒業論文		（論題）		ふるさと納税による経済効果		就業経験が家事、育児、介護等の場合のみ、その期間を含めた内容を詳しく記入してください（P35の6.を参照してください）					
項 目		内 容									
志望する研究指導科目の選択理由について		P35の7.を参照して記入してください									
修了後の進路について		現在計画している修了後の進路について記入してください									
（就職・進学等の希望計画について）											

# 2027年度 広島経済大学大学院【後期課程】入学願書

## 記入例

この欄は記入しないでください

ふりがな	けいだい はなこ			受験番号	※	
名前	経大 花子			性別	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	
生年月日	1996年 1月 23日生 ( 30 才)				入試区分	一般選抜
現住所	〒731-0192 TEL090-XXXX-XXXX 広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番地1号			受 験	コース名	研究者養成コース
	名前 経大 太郎    本人との関係 夫 〒 TEL090-XXXX-XXXX 同上				外国語科目	英語 (日本人)
緊急連絡先				〒 TEL090-XXXX-XXXX P7の研究指導欄に ○が付いている科目を選んでください		
学 歴	在 職 期 間		会 社 名	部 科 名		卒業・修了・中退の別
	2011年 4月～ 2014年 3月		KDAI高等学校	普通科		卒業
	2014年 4月～ 2018年 3月		広島経済大学	経済学部 経済学科		卒業
	2025年 4月～ 2027年 3月		広島経済大学大学院	博士課程 前期課程 経済学専攻		修了見込み
職 歴	在 職 期 間		会 社 名	所 属 部 署 ・ 役 職 名		
	2018年 4月～ 2023年 3月		株式会社 経済商事	総務部 総務課 係長		
	年 月～ 年 月		※学歴・職歴欄は高等学校卒業以降、 空白期間がないよう全て記入してください			
	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
※在職中の者は在職証明書を提出 (その他特記事項) 期間:2023年4月～2025年3月 内容:税理士試験の勉強をしながら家事に専念						
項 目	内 容					
修了後の進路について (就職・進学等の希望計画について)	就業経験が家事、育児、介護等の場合のみ、その期間を含めた内容を詳しく記入してください (P37の4. を参照してください)					
	現在計画している修了後の進路について記入してください					

2027年度

# 調 査 書

【広島経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士課程 前期課程（一般選抜）】

ふりがな			年 月 日 入学・編入・転入学
名 前			年 月 日 卒業・卒業見込
現住所	〒 TEL		
在学中の異動	期 間	事 由	
	休学	年 月 日 ~ 年 月 日	
	その他	年 月 日 ~ 年 月 日	
卒業論文	(論 題)		
在学中の状況			
所 見	<p style="text-align: center;">記載責任者名 <span style="float: right;">(印)</span></p>		
<p>本書の記載事項に誤りのないことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所在地 大学名 学長又は学部長 <span style="float: right;">(印)</span></p>			

# 調 査 書

【広島経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士課程 後期課程（一般選抜）】

ふりがな				〒	TEL
名 前	現住所				
履 歴 (大 学 大学院 を記入)	大学／大学院名	学部／研究科名	学科／専攻名	課程名	入学／卒業・修了年月日
					年 月 日入学
					年 月 日卒業 学士
					年 月 日入学
					年 月 日修了・修了見込
	取得した学位				
在学中 の異動	期 間			事 由	
	休 学	年 月 日 ~	年 月 日		
	その他	年 月 日 ~	年 月 日		
学 位 (修士) 論 文	(論 題)				
	(要 旨)				
総合所見				指導教授名	⑩
<p>本書の記載事項に誤りのないことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所 在 地 大 学 名 学長又は研究科長</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>					



年 月 日

## 長期履修学生申請書

広島経済大学 学長 殿

下記のとおり長期履修の適用を希望したいので申請いたします。

記

氏 名 \_\_\_\_\_ ⑩

入 学 年 月	年 月
修了予定年月	年 月

課 程	コース	希望修了年限
博士課程 前期課程	①経済学専修コース ②研究者養成コース	① 3年修了 ② 4年修了
博士課程 後期課程	研究者養成コース	① 4年修了 ② 5年修了 ③ 6年修了

(いずれかに○印をつけてください)

勤務先名称など (所属部署・役職名)	
勤務先所在地	〒 _____ TEL _____

長期履修を必要とする理由

# 廣 島 経 済 大 学

大学院経済学研究科経済学専攻博士課程  
(前期課程・後期課程)

<入学試験に関する問い合わせ先>

入試広報センター

- 受付時間(平日) 8:45~17:30(土・日・祝祭日は休業)
- 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
- TEL(082)871-1313(直) ■FAX(082)871-1074
- URL <https://www.hue.ac.jp/> ■E-mail [ent-sc@hue.ac.jp](mailto:ent-sc@hue.ac.jp)